

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	特別支援学校給食事業				事業番号	038-094	
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学校給食課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.5
			有	取組	特別支援教育の充実			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	学校教育法 堺市学校給食管理運営規則		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市立支援学校児童生徒 502人（R7.5.1 現在）				対象数	単位
						502	人
7	事業の目的	堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒に安全・安心でおいしい学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するものである。					
8	事業内容	堺市立特別支援学校において給食を児童生徒に提供している。給食調理業務は、すべての特別支援学校において民間委託し、栄養士が仕様書に基づき学校給食調理業務委託の履行確認を実施。ほかに主な業務は、献立作成・物資調達・学校給食調理施設や設備の維持管理、給食用食器等・消耗品の調達、食材の検査や調理場内の衛生検査、食材の空缶・段ボール・牛乳パックのリサイクル等である。 学校現場の負担軽減の一環として、給食費を各学校が徴収・管理する「私会計」から、本市で徴収・管理する「公会計」へ移行（令和6年4月開始）した。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	委託業者、（公財）堺市学校給食協会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	児童生徒に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができています割合	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100		
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		個に応じた給食を提供するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		児童生徒に対し状況に応じた給食の提供を行うことを目的とする。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	給食実施日数	日		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	190	188	185	
			実績値	190	188		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		事業の活動状況を端的に示すため。					
目標値の設定根拠・算出方法		給食実施予定日を設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		特別支援学校給食事業				事業番号		038-094				
Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費（a）	62,935		95,589		109,961		98,727		117,258	
		国支出金	13,559				10,682		10,164		13,428	
		府支出金	0		0		0		0		19,424	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		34,681		39,958		33,860		22,083	
14	人件費（b）	49,376		60,908		59,321		54,703		62,323		
		810		3,240		3,360		3,360		18,390		
15	年間経費（c）=(a)+(b)	63,745		98,829		113,321		102,087		135,648		
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		学校給食調理業務	R7	決算	50,043	50,043	情報システム機器借上料（学校給食費徴収・管理関係）	R7	決算	240	240	
			R8	予算	55,039	55,039		R8	予算	240	240	
		学校給食運営業務	R7	決算	47,855	3,831	学校給食費管理関係委託料	R7	決算	266	266	
			R8	予算	56,059	1,124		R8	予算	292	292	
		備品購入費	R7	決算	0	0	代替給食持参児童等給付金	R7	決算	0	0	
			R8	予算	1,870	1,870		R8	予算	568	568	
		廃棄物処理・運搬等委託料	R7	決算	141	141	消耗品費	R7	決算	0	0	
			R8	予算	2,232	2,232		R8	予算	141	141	
		郵便料	R7	決算	131	131	その他（手数料等）	R7	決算	51	51	
			R8	予算	523	523		R8	予算	294	294	
		Ⅳ. 事業の効率性										
単位当たり経費												
17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度					
	①	堺市立の特別支援学校に通う児童生徒（各年度5月1日現在）			人		475		502			
	②	上記①にかかる年間経費			千円		98,829		102,086			
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位		208,061		203,359			
算出についての説明等												
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	単位当たり経費は特別支援学校に通う児童生徒数の増加に伴う要素が大きい。その一方で物価高騰等による給食用食材費、調理委託等件費などの上昇も見られる。令和7年度は令和6年度に比べ、高騰支援分も含めひとり1食あたりの食材費単価をアップした。事業費自体は、項目ごとにその必要性を精査したもので、効果的に事業を実施している。											
	市立特別支援学校全校において、「学校給食衛生管理基準」に基づき、献立作成や物資の調達、調理業務に至るすべての段階において安全衛生管理をより一層徹底させ、当該業務を実施した。											
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）												
19	「学校給食衛生管理基準」に基づき、献立作成や物資の調達、調理業務に至るまでのすべての段階において安全衛生管理を徹底することで、安全・安心な給食を提供し、堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒の心身の健全な発達に寄与した。											
	堺市学校給食安全衛生運営会議での調理場確認の際、改善すべきと意見聴取した事項は、対象校のみでなくすべての学校の調理場でも同様の事例がないか確認を行い、該当する場合は改善していくことで、より一層の安全性の確保につながっている。											
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）												
20	必要性	■ 高い □ 低い	特別支援学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童生徒の食に関する正しい理解等を養う上で重要な役割を果たす事業である。今後も安全・安心を第一においしい給食を提供するため、費用対効果を図りつつ事業を推進する。									
	有効性	■ 高い □ 低い										